



# 令和3年2月期 決算説明資料

---

岡谷鋼機株式会社

令和3年3月31日

1. 連結経営成績
2. 連結財政状態
3. 連結キャッシュ・フローの状況
4. Gih-2020総括
5. 個別業績の概要
6. 連結業績予想
7. 配当予想
8. 設備投資
9. 株主優待
10. トピックス

# 1. 連結経営成績

単位：億円

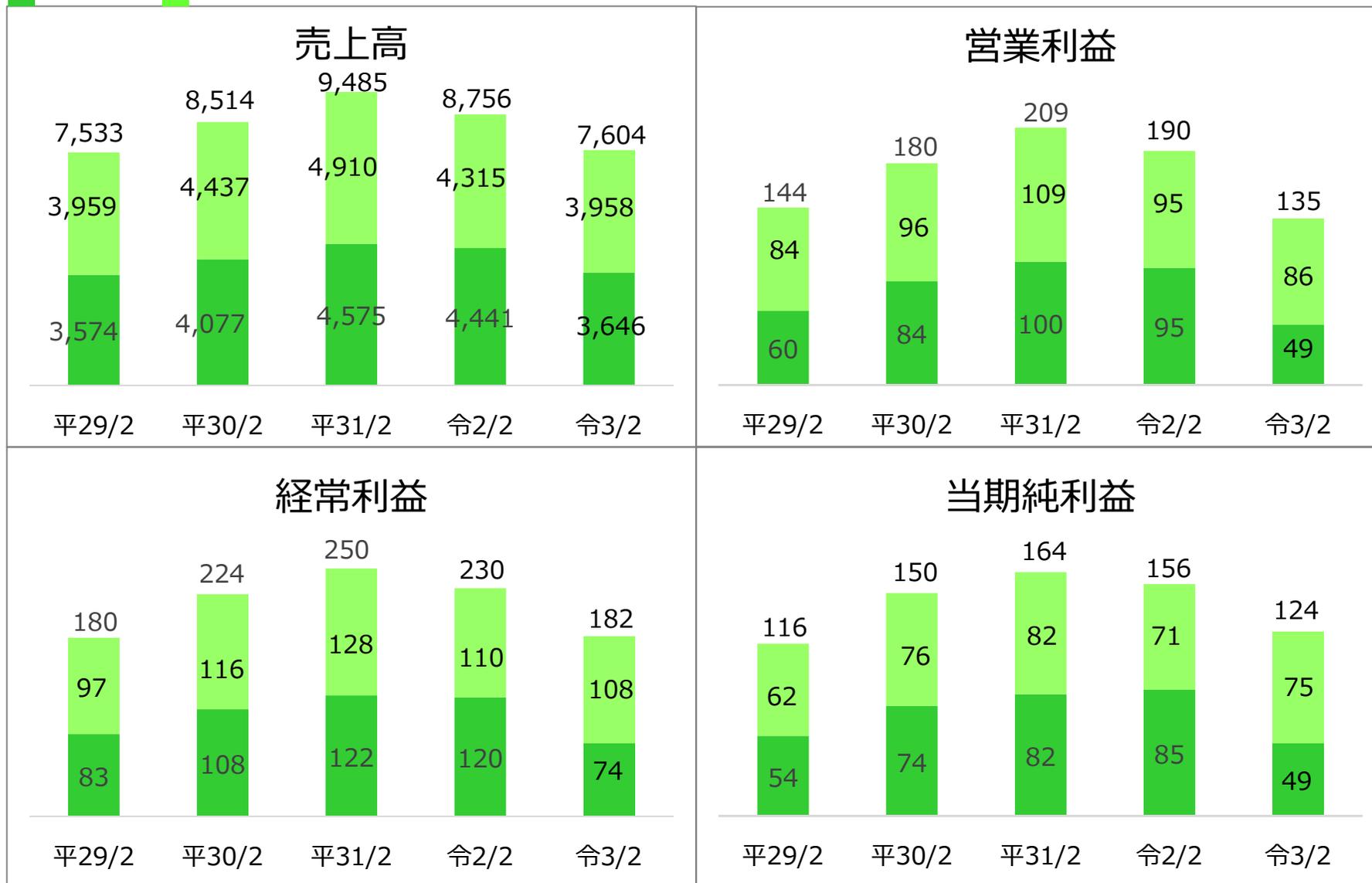
	令2/2期	令3/2期	前期比増減 (増減率)
売上高	8,756	7,604	△1,151 (△13.2%)
売上総利益	611	533	△77 (△12.7%)
販売費及び一般管理費	420	397	△23 (△5.5%)
営業利益	190	135	△54 (△28.6%)
経常利益	230	182	△47 (△20.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	156	124	△32 (△20.7%)
一株当たり 当期純利益	1,627.93円	1,291.28円	△336.65円
期末人員	5,115名	5,126名	+11名

連結子会社数：71社 持分法適用会社数：14社

# 1. 連結経営成績 <推移>

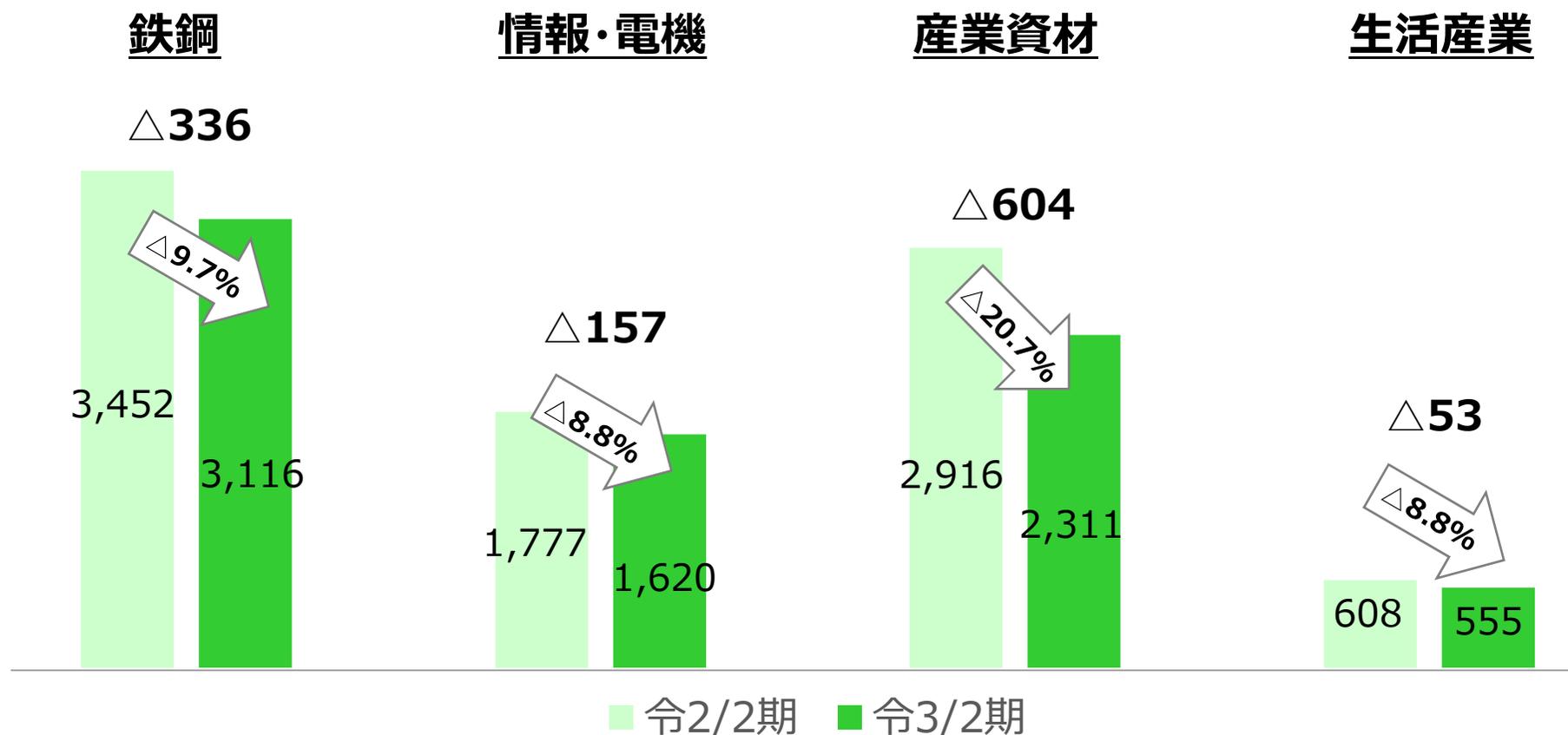
上期 下期

単位：億円



# 1. 連結経営成績<セグメント別売上高>

単位：億円



建材・製造業向け減少。輸出は一部中国向け増加、米国・アジア向けは減少。

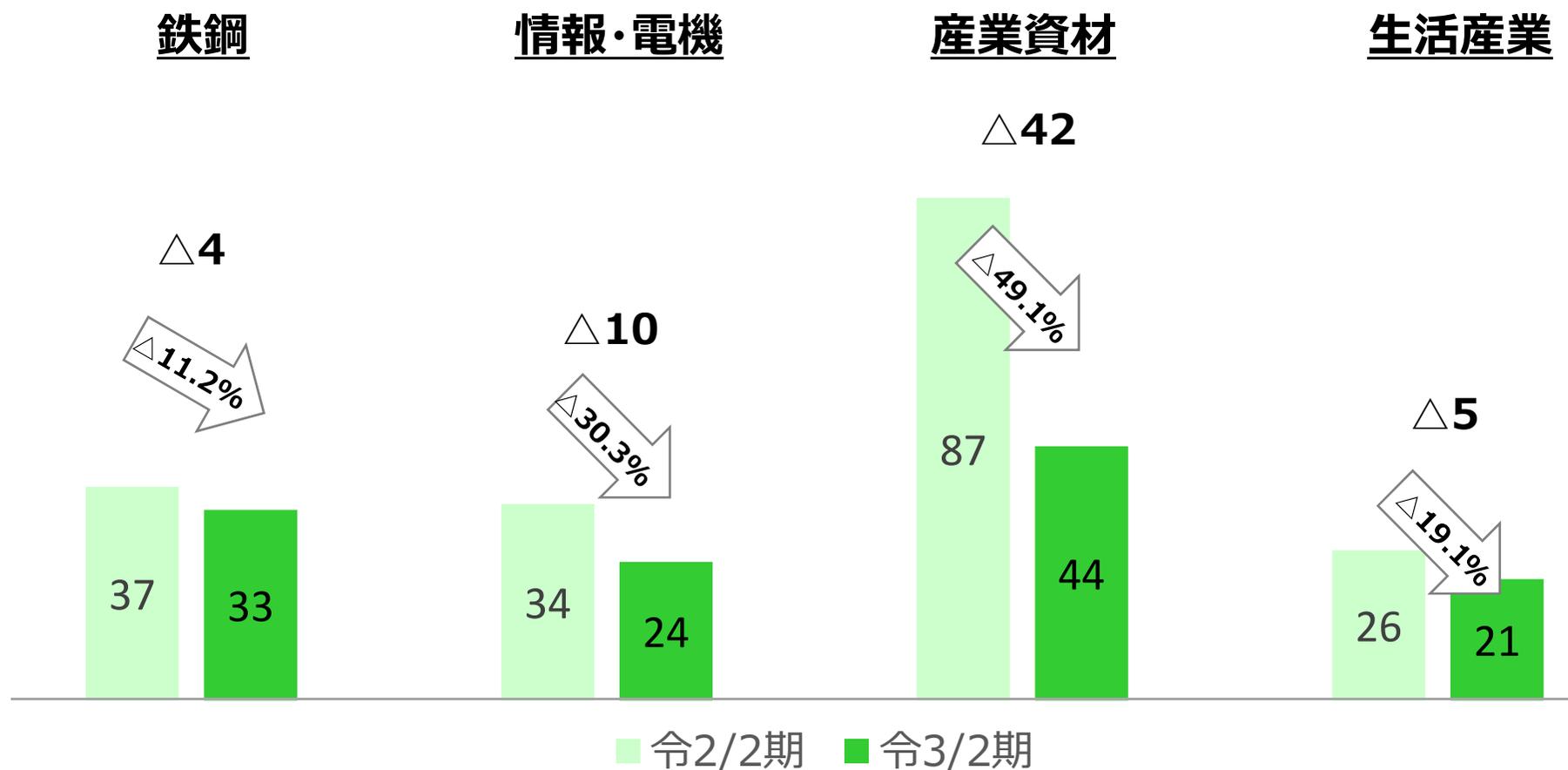
PC・通信関連は増加、車載用の非鉄・電子部品およびFA・OA、設備機器は減少。

樹脂原料価格は下落し住設向けも減少。車載部品は増加したが設備は減少。

住宅機器向け部材は増加、エネルギー関連・配管機材類および水産物・鶏肉の輸入は減少。

# 1. 連結経営成績<セグメント別営業利益>

単位：億円



## 2. 連結財政状態

単位：億円

	令2/2末	令3/2末	前期比増減
<b>総 資 産</b>	<b>4,940</b>	<b>4,972</b>	<b>+31</b>
( 流 動 資 産 )	3,117	2,909	△208
( 有 形 固 定 資 産 )	398	443	+44
( 投 資 有 価 証 券 )	1,177	1,338	+161
( その他の固定資産 )	247	281	+33
<b>負 債</b>	<b>2,746</b>	<b>2,551</b>	△194
( 流 動 負 債 )	2,213	1,982	△231
( 固 定 負 債 )	532	569	+36
<b>純 資 産</b>	<b>2,194</b>	<b>2,420</b>	<b>+225</b>
<b>自 己 資 本 比 率</b>	<b>42.4%</b>	<b>46.6%</b>	<b>+4.2%</b>
<b>有 利 子 負 債</b>	<b>969</b>	<b>826</b>	△143

### 3. 連結キャッシュ・フローの状況

単位：億円

	令2/2期	令3/2期	前期比増減
営業活動による キャッシュ・フロー	+343	+241	△102
投資活動による キャッシュ・フロー	△58	△70	△12
財務活動による キャッシュ・フロー	△285	△161	+123
現金及び現金同等物 の期末残高	+86	+96	+10

# 4. Gih-2020総括

単位：億円

	平29/2期		平31/2期		令3/2期	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
連結売上高	8,000	7,533	8,500	9,485	10,000	7,604
経常利益	200	180	250	250	-	182
親会社株主に 帰属する 当期純利益	130	116	150	164	200	124
海外取引比率	32%	31.1%	35%	32.3%	-	31.4%

「Gih-2020」は平29/2期から令3/2期までの5カ年の中期経営計画です。  
平31/2期には堅調な世界経済を背景に、産業資材セグメント中心に業績が伸長し、  
売上・経常利益・当期純利益が目標に到達しましたが、令3/2期は世界経済の景気後  
退、新型コロナウイルスの影響も有り、目標は未達となりました。

## <Global>

・海外拠点開設(8拠点)、子会社設立(3社)による拠点拡充(海外67拠点⇒78拠点)

## <Innovation>

・シリコンバレー、イスラエルに進出

・航空機関連、自動運転技術、自動化・省人化、AI、IoT、次世代自動車等の取組み

## <Human Resource>

・海外スタッフ研修、新入社員語学研修、SDGsや社会貢献活動を通じた人材育成

# 5. 個別業績の概要

単位：億円

経営成績	令2/2期	令3/2期	前期比増減 (増減率)
売上高	6,058	5,170	△888(△14.7%)
営業利益	101	72	△28(△28.6%)
経常利益	171	126	△44(△26.3%)
当期純利益	127	93	△33(△26.3%)
一株当たり 当期純利益	1,318.76円	971.91円	△346.85円
期末人員	683名	691名	+8名
財政状態	令2/2末	令3/2末	前期比増減
総資産	3,703	3,727	+24
純資産	1,607	1,787	+179
自己資本比率	43.4%	47.9%	+4.5%

# 6. 連結業績予想

単位：億円

	令3/2期 実績	令4/2期 予想	前期比増減	
			増減	増減率
売 上 高	7,604	8,400	+795	+10.5%
鉄 鋼	3,116	3,580	+463	+14.9%
情 報 ・ 電 機	1,620	1,760	+139	+8.6%
産 業 資 材	2,311	2,450	+138	+6.0%
生 活 産 業	555	610	+54	+9.8%
営 業 利 益	135	160	+24	+17.8%
経 常 利 益	182	200	+17	+9.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	124	135	+10	+8.6%

# 7. 配当予想

単位：円

	令3/2期 実績	令4/2期 予想
第 2 四 半 期	110	(115)
期 末	115	(115)
年 間 配 当	225	(230)
配当性向(連結)	17.4%	(16.4%)



( )は予想値

# 8. 設備投資

単位：百万円

	令3/2期 実績	令4/2期 予定
設備投資額	8,772	14,280
	<主な内容>	<主な内容>
	物流倉庫 増改築等 2,915	物流倉庫 増改築等 1,290
	賃貸用資産 設備 686	賃貸用資産 設備 710
	事務所 設備・土地等 964	事務所 設備・土地等 8,000
	工場設備（海外） 389	工場設備（海外） 860
	工場設備（国内） 1,052	工場設備（国内） 1,430
	金型 915	金型 630
	システム関連 1,358	システム関連 850
	車両運搬具 51	車両運搬具 130
	その他 442	その他 380
減価償却費	3,489	3,700

# 9. 株主優待

## □一般株主向け優待

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
愛知県産米 山の幻ミネアサヒ（※1） 5kg	100株以上	2月末	4月下旬
	200株以上	8月末	10月下旬

※1. 令和2年産米の食味ランキングにて、最高位「特A」を愛知県産米で初めて取得しました。

## □長期保有株主向け優待（※2）

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
図書カード2,000円相当	100株以上	2月末	4月下旬
図書カード1,000円相当	100株以上	8月末	10月下旬

※2. 一般株主向け優待に加え、半期毎(2月末及び8月末)に発行される最終株主名簿に、同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件として贈呈いたします。  
発送は通常の株主優待とは別送となります。

# 10. トピックス

年月	内容
R2年 3月	六合エレメック株式会社によるタイ国現地法人設立
3月	岡山営業所開設
3月	名古屋市港区空見町の土地取得
6月	名古屋大学オープンイノベーション拠点（OICX）に対する寄付
7月	OKAYA チャリティーコンサート 2020 ～感謝の夕べ～ 開催 （無観客公演をTV放映及びインターネット配信）
7月	令和2年7月豪雨災害 義援金寄付
9-12月	小学生サッカー大会「OKAYA CUP」協賛 （愛知県に加え、岐阜県、三重県および東海の各大会も拡大実施）

# 10.トピックス <SDGsへの取り組み>

平成30年9月に350周年行事の一環として

**「みんなで取り組むSDGs」**と名付け、17の目標と各組織を紐づけて活動を開始



# 10. トピックス <SDGsへの取組み>



【取組内容】  
環境技術を活用した  
金属資源の再利用  
【組織】  
非鉄金属本部



【取組内容】  
フードバンクへの食料品寄付  
【組織】  
企画本部



処理前



炭化処理後



回収した食料品の一部

廃棄されたモーターに使用される銅線は、従来産廃処理するのが一般的でしたが、炭化処理を行うことでファスナー、ボタンに使用する銅としてリサイクルする取組を行っています。

今後も優れた技術を活用し、金属資源の再利用を通じ、世界中の国々で持続可能な社会の実現に貢献します。

経済的困窮により、十分な食事を取れない個人・世帯に対して直接食品を提供しているフードバンクへの食料品寄付に加え、ボランティア活動に取り組みました。

今後もこの様なボランティア活動に積極的に参加し、食糧問題解決に貢献します。

ものづくりに貢献する感性豊かな  
“グローバル最適調達パートナー”

岡谷鋼機株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する予測は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、実際の業績等は様々な要因により変更される可能性があります。当社は新しい情報、将来の出来事に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。